



武蔵野市民芸術文化協会 自主イベント
Musashino Citizen Arts and Culture Association

入場無料

令和7年度 秋麗フェスタ

重要無形民俗文化財
八王子車人形

人間国宝
新内節浄瑠璃

東海道中 膝栗毛

とうかいどうちゅうひざくりげ

弥次郎兵衛と喜多八の
コンビが繰り広げる珍道中

夏休みに
家族で楽しめる！

江戸の粋を
今に伝える語り物
「新内節浄瑠璃」

【第1部】三番叢／八王子車人形の魅力／車人形体験／
新内節浄瑠璃の魅力／舞踊「八百屋のお七」

【第2部】八王子車人形 × 新内節浄瑠璃
「東海道中膝栗毛」赤坂並木～卯塔場

人形を操る
「ろくろ車」の
仕掛けとは？

日時 2025年8月24日(日)

開場 13:30

開演 14:00 (終演予定 16:10)

場所 武蔵野市民文化会館 大ホール
(武蔵野市中町 3-9-11)



鶴賀 若狭操
新内節浄瑠璃
鶴賀流十一代目家元
人間国宝



西川 古柳
八王子車人形
西川古柳屋
五代目家元





武蔵野市民芸術文化協会

Musashino Citizens Arts and Culture Association

自主イベント

重要無形民俗文化財

八王子車人形

人間国宝

新内節浄瑠璃

入場無料

予約不要です。
当日直接会場へ
お越しください。令和7年度
秋麗フェスタ

東海道中膝栗毛

とうかいどうちゅうひざくりげ

日時 2025年8月24日(日) 開場13:30 開演14:00(終演予定 16:10)

場所 武蔵野市民文化会館 大ホール(武蔵野市中町3-9-11)

アクセス JR三鷹駅北口より徒歩13分。もしくはバスで「市民文化会館入口」下車徒歩2分。
JR吉祥寺駅北口よりバスで「市民文化会館前」下車徒歩1分。

第1部

- 三番叟
 - 八王子車人形の魅力
 - 車人形体験
 - 新内節浄瑠璃の魅力
 - 舞踊「八百屋のお七」
- 新内節浄瑠璃 鶴賀 伊勢吉
三味線 鶴賀 鶴二郎
上調子 鶴賀 伊勢一郎

車人形を体験しよう！

体験ご希望の方は、当日受付で抽選番号をお受け取りください。
抽選で数名に舞台より体験していただきます。(スカートは不可。
舞台では靴を脱いでいただきます。)

第2部

- 「東海道中膝栗毛」赤坂並木～卯塔場
- 車人形 西川 古柳座
新内節浄瑠璃 鶴賀 若狭操(人間国宝)
三味線 鶴賀 伊勢吉
上調子 鶴賀 伊勢一郎

「東海道中膝栗毛」あらすじ

京見物に出かけた勢次郎兵衛と喜多八。御油の宿はずれの並木道を通ぎ、卯塔場(劇場)にさしかかると、お使いのり子孫を化物物だと思ひ込み、勢次郎は棒で殴ってしまします。その父親はこぼした酒代と子供の治療代を要求。怖くなった喜多八さんは逃げてしまい、残された勢次郎さんは、父親にとりめられたあけくげに。死んだと思った父親は勢次郎さんに死に装束を着せて立ち去ります。夜中に正装に戻った勢次郎さんは一

八王子車人形



西川 古柳

八王子車人形西川古柳座 五代目家元

八王子に160年以上続く国指定無形民俗文化財である伝統人形芝居「八王子車人形」の五代目家元、幼少より祖父(三代目)父(四代目)に指導を受け、23歳で文筆研修生として五人連いの操作も学ぶ。昭和62年より1年間スウェーデン国立人形劇団、スウェーデン人形劇学校で車人形を指導する。地元八王子での定期公演のほか日本各地で公演し、伝統人形劇団を指導。平成6年から「受け継がれていく伝統人形芝居」を主催し、日本の伝統人形を守り、広めるための活動。海外招徠が多い。近年ではニューヨークでアメリカの人形連いと合同で新作「Sharks Mare」や「AKUTAGAWA」を発表。平成16年より八王子市観光大使。平成18年八王子市文化功労賞。

五代目
西川 古柳

西川 幸時



西川 幸助



西川 幸枝



西川 幸美



西川 幸香



西川 幸大

新内節浄瑠璃



鶴賀 若狭操

新内節浄瑠璃重要無形文化財保持者(人間国宝)・新協会理事長・新宿区名誉区民



鶴賀 伊勢吉

新内節浄瑠璃重要無形文化財保持者(人間国宝)・新協会理事長



鶴賀 鶴二郎

新内節浄瑠璃重要無形文化財保持者(人間国宝)・新協会理事長



鶴賀 伊勢一郎

新内節浄瑠璃重要無形文化財保持者(人間国宝)・新協会理事長



鶴賀 伊勢吉

新内節浄瑠璃重要無形文化財保持者(人間国宝)・新協会理事長



鶴賀 鶴二郎

新内節浄瑠璃重要無形文化財保持者(人間国宝)・新協会理事長



鶴賀 伊勢一郎

新内節浄瑠璃重要無形文化財保持者(人間国宝)・新協会理事長

八王子車人形とは

「ろくろ車」といって、前に2個、後ろに1個の車輪がついた箱形の車に腰掛けて、一人の人形連いが一体の人形を操る特殊な一人連いの人形芝居で、江戸時代末の文政8年(1825)に、現在の埼玉熊倉組市に生まれた初代西川吉雄(山岸柳吉)によって考案された。人形が舞台上直接足をつけて演技が出来るため、独自の運動感が生まれますが、このような構造は世界でも類がないと言われている。八王子車人形は、伝統的な説経浄瑠璃や義太夫節、江戸の新内節浄瑠璃の語りとともに演じられるほか、様々なアーティストとの共演も行っている。海外招徠も多く、ウニマ(国際人形劇連盟)の招待では旧ソビエト・ベルギー・インド・フランスなどの国際大会で公演。そのほかアメリカ建国200周年祭公演を皮切りにヨーロッパ、アジア、中東、中南米、南米と40か国以上で上演し、毎年公演を行っている。令和4年(2022)には八王子市では初めての重要無形民俗文化財に指定された。

新内節とは

新内節の始祖、初代鶴賀若狭操は他の豊後節系浄瑠璃とは違い江戸三座には出演せず、座敷浄瑠璃、浄瑠璃として、他の芸能とは提携せずに発展し、多くの作品を残しました。現代で天才ソングライターです(座敷・明島夢路香・伊太八等)。その門下から官人の鶴賀新内が現れ、彼の鼻に掛ける美声の新内に人気を得て大当たり。いつの間にか鶴賀節は新内節と言われるようになりました。新内節は、美声の自由な語り物ともいって道里を中心に定着し、いっそう官能的、情緒的な語り口となり、庶民から愛される身近な音楽となったのです。今日に伝わる新内はさらに洗練されて高低の旋律が変化に富み、語り口は端緒として真剣切々と織繰にまた大層に聞く人の心に訴えます。このような物語性豊かな新内は心中の美学といわれ、心中を美しく麗いあげているとも云われますが、世話物、役物などさまざまな物語の演目があります。三味線以外の流派にはない特有の美しさや奏で、本手と上調子の二拍が織繰りながら端緒で微妙な音色は切々と心に響きます。

